

高橋昇 農学者。朝鮮全土を歩き、膨大な写真付きの記録を作成するも、<敗戦>で場を失い、直後に没した。

たかはしのぼる

大本教・・・1892 = 福岡県八女郡上妻村で、代々漢方医梯家に婿養子に入るも教育者となり、地元小学校校長になってまもない岩次郎の次男に生まれる。母はタキ。

子規句歌革新1898 = 6歳：父の勤務校ではない上妻尋常小学校に入学、

田中正造直訴1901 = 9歳：

教科書疑獄・1902 = 10歳：新設された高等科に進み、

韓国反日暴動1907 = 15歳：福岡県立久留米中学明善校に進学。この年、誕生3年前にあった筑後川大洪水の際、農民救済に奔走した伯父青木牛之助が帰郷、以後、

韓国併合・・・1910 = 18歳：

大逆事件判決1911 = 19歳：この年、名校長と謳われた実父岩次郎が退職。

明治天皇没・1912 = 20歳：鹿児島第七高等学校造士館に入学。梯家再興のためと、医科に進むも対応できず、農科に転じる。

第一次大戦始1914 = 22歳：この年、桜島大噴火。

21ヶ条要求・1915 = 23歳：卒業し、東京帝国大学農科大学に入学。教授横井時敬の影響を受け、

この間、上妻郡の豪商高橋家の名跡継ぐべく婿養子入り、高橋昇となって、

本格政党内閣1918 = 26歳：卒業。農務省農事試験場での研究を経て、

第一次大戦終結・1919 = 27歳：朝鮮総督府勸業模範場技手を命じられ、三・一運動まもない朝鮮に渡り、水原に赴任。

原敬首相暗殺1921 = 29歳：

関東大震災・1923 = 31歳：この年、伯父青木牛之助が死去。

護憲三派圧勝1924 = 32歳：{遺伝学雑誌}に大麥に関する論文発表。黄海道沙里院の勸業模範場西鮮支場兼務となり、

治安維持法・1925 = 33歳：場長武田総七郎から強い影響を受けるも、本場長命で、

円本時代始・1926 = 34歳：米欧視察旅行に出発、下宿して体験生活。この年、同郷のアメリカボテト王牛島謹爾が死去。

共産党事件・1928 = 36歳：アメリカの学者に会って強い刺激を受け、私費による出張延期で、1年の研究生生活をした後、

世界恐慌・・・1929 = 37歳：膨大な日記を抱えて、帰国。勸業模範場西鮮支場長となる。

この間、再婚するも、妻は夫の仕事熱中について行けず、里帰り。

満州事変・・・1931 = 39歳：

五一五事件・1932 = 40歳：農機具の大展示会開催。

国際連盟脱退1933 = 41歳：東京帝大農学部にて、遺伝学者としての学位論文を提出し、

芥川直木賞始1935 = 43歳：農学博士。当時の慣習で、全国にラジオ放送され、帰郷して大祝賀会。この時ライカを贈られて有頂天、

厳冬期に、満州・内蒙古方面を実地調査した後、

日中戦争始・1937 = 45歳：地元農民らとの交流も進み、朝鮮で最も賑やかな農業試験場となると、以後、このライカを手に、朝鮮全

土を本格的に調査し膨大な記録を残して行く。

第二次大戦始1939 = 47歳：この年、総督府始まって以来の大旱魃。

大政翼賛会・1940 = 48歳：朝鮮を訪れた民俗学者早川孝太郎と交流して、研究領域も拡大。

日米開戦・・・1941 = 49歳：

多忙のため、実態調査回数も減って行くなか、自ら提案してきた機構改革が実現して、

年金+総武装 1944 = 52歳：朝鮮農試が日本農政から独立し、統合されたセンター水原農業試験場本場の総務部長になるが、

敗戦・・・1945 = 53歳：敗戦となり、

新憲法公布・1946 = 54歳：引揚げ、26年ぶりに日本に帰国するも、栄養不足と過労のため、狭心症で急逝した。